

湧き水と生態系

崖下の湧き水を集めて流れる小川とそのまわりには、いろいろな生きものが見られます。小川にそっと入って、大きめの石を手にとって調べてみましょう。石の裏側には、小さな藻を食べて生活しているカゲロウやトビケラの幼虫がきっと見つかるでしょう。水中にはこれらの水生昆虫を食べる魚があり、陸上にはその魚をねらうコサギやカワセミがくらしています。水の中に生えるミクリやヤナギモは魚のかくれがとなっていてます。

これらの生物は、「食う－食われる」の関係や、餌や生活の場をめぐる競争など、さまざまに関係しあって生活しています。このようなひとまとまりの生物を生物群集とよびます。

小川の生物群集は、水や川底の石などを生活の場にしています。これらの生物群集と生活の場を合わせて生態系と呼びます。

湧き水の周囲には、小川や小さな池の生態系のほかに、崖の林という森林の生態系、水田という農地の生態系、ヨシ原という草地の生態系なども見ることもできます。多様な自然環境に富んだ崖線は、生態系の見本園のようですね。

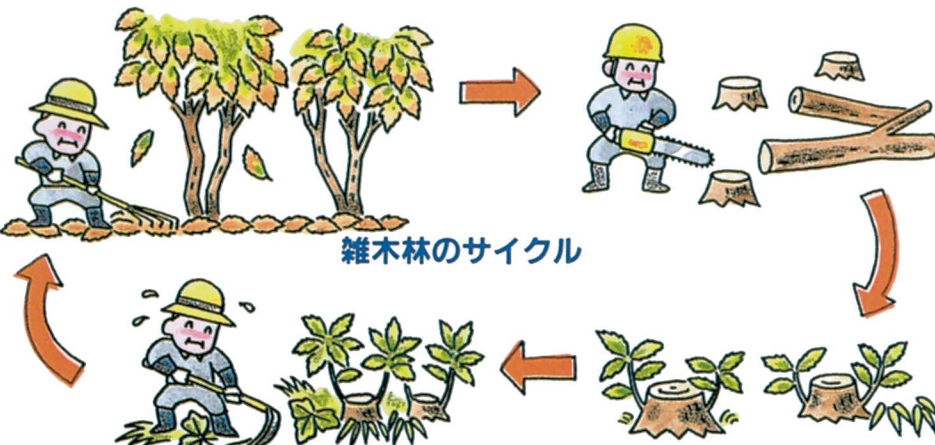


武蔵野の雑木林

「昔の武蔵野は萱原のはてなき光景を以て絶類の美を鳴らして居たやうに言ひ伝えてあるが、今の武蔵野は林である。林は実に今の武蔵野の特色といてもいい」 国木田独歩は、明治31年に著した「武蔵野」の中で、当時の武蔵野の姿をこのように描いて称賛しています。

武蔵野に広がっていた雑木林は、薪や炭を得るために、15～20年の間隔で伐採され、その切り株から出た芽から育てられてきた林です。こうした利用がくり返し行われてきたため、切り株から芽を吹く力の強いコナラやクヌギなどの樹木だけが、株立ちの樹形となつて残っているのです。また、毎年のように下草刈りと落ち葉掃きを行って、集めた落ち葉や下草を田畑の肥料として使うため、よく手入れされた雑木林の林の中は、下草がきれいに刈り払われて、比較的明るくなっています。

雑木林は、自然を破壊することなく、その力と性質とをコントロールして、継続した利用を図ってきた見事な知恵が生み出した風景ともいえます。燃料革命などによって、雑木林が農用林や薪炭林として果たしてきた役目が失われてきたとしても、私たちの祖先が工夫と愛情をもって育て、人々の生活とともに維持されてきた林であることを考え、大切にしたいものです。



「雑木林のみち」は10コース



次の10コースを「雑木林のみち」として選定しました。

コース名	愛称	延長	風景と特徴	位置
① 清瀬中里コース	広野と街道のみち	10.6km	畑の広がりや屋敷林	清瀬市
② 松山・青葉町コース	森のこみち	5.9km	大平地林なごりの林	清瀬市・東村山市
③ 黒目川・柳窪コース	屋敷林のみち	6.0km	黒目川源流の屋敷林	東久留米市
④ 小山・金山コース	丘のこみち	5.0km	黒目川崖線の雑木林	東久留米市
⑤ 南沢・南町コース	里のみち	5.9km	湧水と新田集落風景	東久留米市
⑥ 玉川・野火止コース	用水の散歩みち	6.2km	用水沿いの雑木林	小平市・東大和市
⑦ 国分寺コース	みずかみのみち	4.7km	崖線の樹林と湧水	国分寺市
⑧ 矢川・青柳コース	せせらぎのみち	5.9km	崖線の樹林と湧水	国立市・立川市
⑨ 野川・深大寺コース	ハケの散歩みち	5.2km	野川緑道と崖線樹林	三鷹市・調布市
⑩ 調布若葉町コース	こもれびのみち	4.6km	入間川の段丘崖樹林	調布市・世田谷区

「雑木林のみち」へようこそ

■「雑木林のみち」とは

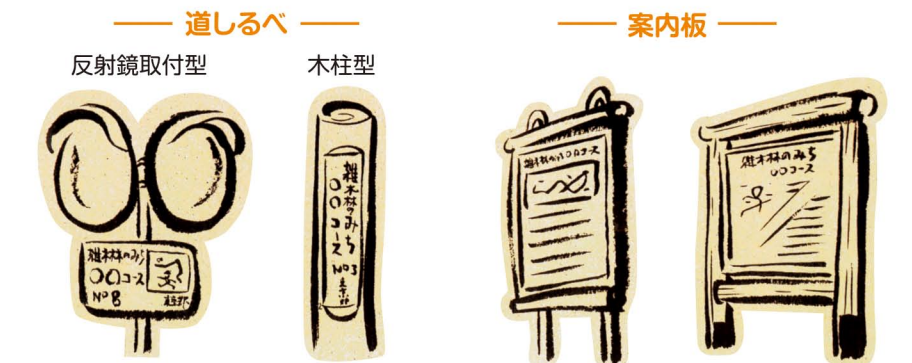
東京都は多摩東部地域に残る雑木林を保全し、この雑木林を中心とした武蔵野らしい風景をつづる道を「雑木林のみち」として選定しました。コース周辺に残る平地や崖線の雑木林を、都民の貴重な財産として維持し、親しんでいただくことを目的としています。

■「雑木林のみち」の特徴

- 「雑木林のみち」のコースは次のような点に留意して選定しました。
1. コースの周りに雑木林や畑が比較的良好に残っていたり、水辺に沿って歩けるなど、散策や自然観察に向いている。
 2. 保全地域や保存樹林などに指定され、武蔵野の風景が守られている。
 3. それぞれのコースは、半日あればゆっくり散策できる。
 4. 電車やバスなどの交通の便がよい。

■「雑木林のみち」の歩き方

「雑木林のみち」は、この地図のコースに沿って歩いてください。地図に標示されたコース沿いには、ところどころに下記のような案内板や道しるべが設置されています。なお、保全地域や公園などコース外であっても散策してみると、新たな発見があるかも知れません。



ここに注目!矢川・青柳コース



① 矢川緑地保全地域

「東京における自然の保護と回復に関する条例」に基づき、昭和52年3月、都の保全地域に指定されました。約2.1haの地域内には、矢川の流れとその両側に広がる樹林地、湿地があります。矢川は、立川段丘崖の崖下から湧きだす湧水を集めて流れる幅2m程の小さな流れですが、冬場も涸れることがありません。矢川の流れの中には、ミクリやヤナギモなどの湿生植物が生育し、コカゲロウ、シマアメンボなどの水生生物が見られ、カルガモやコサギなどの野鳥が集まってきます。

② ママ下湧水

ママとはこの辺りで「崖」のこと。青柳崖線の下から湧き出る豊富な湧水は東京の名湧水57選にも選ばれています。

③ 矢川おんだし

矢川の流れが段丘崖を下って、府中用水の合流する地点は、矢川おんだしと呼ばれています。崖の雑木林とともに水田とナシ園が昔からの景色を伝えていいます。

④ 谷保の城山歴史環境保全地域

青柳段丘崖のほぼ中心に位置する約1.5haの緑地は、昭和50年12月、都の保全地域に指定されました。

城山は国立市谷保に残る中世の城館跡で、昭和19年に三田氏城館として東京都の旧跡に指定されています。イヌシデの多い雑木林の中には、ニリンソウやキツネノカミソリなどの植物が生育しています。



⑤ 城山公園と古民家

城山公園は、昭和61年に開園した国立市の公園です。約0.6haの園内は自然に自生した植物を中心としており、野鳥も多く飛来します。

公園の南側に位置する古民家は、国立市の文化財に指定され、江戸時代の農家のたたずまいを伝えていいます。開館時間は午前10時から午後4時まで、毎月第2・第4木曜日と年末年始は休館です。

⑧ 矢川・青柳

8 矢川・青柳コース せせらぎのみち

雑木林のみち

雑木林のみち

矢川・青柳コース○国立市・立川市○延長5.9キロメートル
交通・新宿からJR中央線で30分立川駅乗り換え
JR南武線で10分矢川駅下車



雑木林のみち・矢川・青柳コース

登録番号(26)60号
環境資料第27058号
編集年月 平成28年3月
発行年月 平成28年3月
編集発行 東京都環境局
新宿区西新宿二丁目8番1号
TEL03(5388)3555
印刷 内外地図株式会社
イラスト 川上洋一、(有)ゼフィルス 御手洗 望

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

VEGETABLE OIL INK

R270
古紙・パルプ配合率70%再生紙を使用

東京都